

【地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業】（協働実践事業）
令和4年度事業報告会（中間発表）

「^ご^ざ^い^んGOZAINー八木山」プロジェクトによる
地域課題解決・活性化事業



- ▶ 一般社団法人 **ございん八木山**
(八興(老人)クラブ)
- ▶ NPO法人 **まちづくりスポット仙台**

◆計画時に示した協働の役割

【八興（老人）クラブ】

- ▶▶会員数 94名(4月時点)
- ▶▶活動内容 グランドゴルフ、小旅行、P
C、手芸等9つのクラブ活動
- ▶▶エリア 八木山東町内会(230世帯)

【強み】

- 太白区最大規模の高齢者ネットワーク
- 高齢化に伴う課題を多数把握している
- 八木山地区からの社会的信用が高い

【弱み】

- 新しいチャレンジに際し不安がある
- 世代間の交流までは出来ていない

【特記】

※現在の拠点「好日庵」を貸していただいている家主さんから土地家屋無償譲渡の申し出をいただきました！

【NPO法人 まちづくりスポット仙台】

- ▶▶正会員数 個人17、団体3(4月現在)
- ▶▶賛助会員数 個人95、団体13(4月現在)
- ▶▶活動内容 郊外住宅地における
コミュニティの再構築など
- ▶▶エリア 泉区長命ヶ丘
- ▶▶拠点 ショッピングモール内

【強み】

- チャレンジの後押しが得意
- 世代間をつなぐのが得意
- 他地域に本事業を拡張できる可能性を持つ

【弱み】

- 泉区の活動が中心で太白区の事情に疎い
- 八木山地区からの信用をすぐに得られない

【特記】

※高齢化の課題は長命ヶ丘も顕著で、後期高齢化率は仙台市の小学校区単位で120区中12番目(今回の八木山地区の1つ上)。



◆計画時に示した協働の役割

再掲

【ただもん市 by八興クラブ】

- ▶好日庵で開催する年5回の無償譲渡会
- ▶近隣から家に溢れる不要な品を集約！
- ▶「不要」と「入り用」をつなぐ場を提供！
- ▶お年寄りには終活を、転入者はお宝探しを
- ▶参加者にサポーター制度(仮)を案内
- ▶余った寄贈品で八木山から国際貢献も！

FREE FLEA MARKET
無料のフリマ！ご自由にお持ち帰りください！



【本年度の目標】

- ・年度内に一般社団法人を立ち上げ、地域内での信用と事業の持続性をさらに高める。
- ・サポーター登録しないまでも、本プロジェクトを認知し味方になってくれる方が200名いる状態を目指す。
- ・次年度の互助システムのサポーター登録制度（仮称）運用に向け、活動を通して各世代の声をまとめる。
- ・味方づくりを通じて、近隣にどんな資源があるかの一覧化に着手する。

【居場所作りWS by まちスポ仙台】

- ▶譲渡会ついでに参加できる年6回の議論の場
- ▶お年寄り以外も、八木山を自分ゴトに！
- ▶参加者に本事業の意味合いを丁寧に説明
- ▶居場所の役割や機能、設備の在り様を話し合う
- ▶“困った”をつなぐ互助の仕組みを皆で検討
- ▶各世代と意見交換し、シンパ形成！



◆計画時から振り返った進捗(トピック)のまとめ

【八興（老人）クラブ】

- ➡**会員数 81名**(10月現在)
※4月当初は94名であったが、死亡・施設入居、コロナによる活動が出来ない等のために13名減。
- ➡**無事、一般社団法人を設立！**
※ひらがなで「ございん」にするか、英語で「gozain」とするか等、やり取りがありました。が、「一般社団法人 ございん八木山」として8月2日に登記しました。
- ➡**7月に試験運用がてらイベント開催！**
※法人設立や一軒家の譲渡契約が家主のご事情などにより後ろ倒れたため、運用の様子を見るためにもまずは試験的に「ただもん市」を好日庵スペースで開催
- ➡**無事、一軒家の譲渡契約完了！**
※法人が成り立ったことで、8月28日に正式に譲渡完了。9月上旬にはハウスクリーニングも終わり、法人の名義で「わいわい会議」の開催が可能になりました。
- ➡**「ただもん市」は10月に4回目を迎えます**
※イベントで様子が分かり、第1回ただもん市を8月28日(日)に、第2回ただもん市を9月25日(日)に開催済。オペレーションも徐々に慣れてきました。

【NPO法人 まちづくりスポット仙台】

- ➡**正会員数 個人14、団体3**(10月現在)
- ➡**賛助会員数 個人99、団体14**(10月現在)
- ➡**法人設立にあたって定款作り等をサポート**
※司法書士さんとともに定款をチェックし合い、仲間を持続的に増やしていくための会費の仕組みなどを決定しました。他に入会届やお礼状など、各種書式も共有し、オリジナルの作成を進めています。
- ➡**一軒家が使えるまでただもん市をサポート**
※一軒家の譲渡が9月上旬に後ろ倒れたことから、イベント～第1回・第2回ただもん市を手伝いつつ、今後の展望や課題について整理を行いました。
- ➡**9月に大学生と初回わいわい会議！**
※一軒家の内見を兼ねながら、東北工業大学 伊藤ゼミ および地域のくらし共創デザイン研究所 所属の学生さんとディスカッションを行いました。
- ➡**10月に中学生とわいわい会議！**
※ただもん市で余った品を可愛くパッケージングしながら、八木山中学校生徒とディスカッションを行いました。



◆【詳報】無事譲渡された土地家屋は、こんなところ！（2022年8月28日）

➡土地 約100坪

➡家屋 軽量鉄骨平屋+木造2階建て 134.92㎡
 （築54年） （築44年）



※大きな声では言えないが、日赤病院協の緑地（八木山テラス：金剛沢緑地愛護協力会）が「緑の環境プラン大賞」に応募して「国土交通大臣賞」を受賞（800万円）。そのプランの中で庭石を使用してもらえるかも？



〈庭には防草シート〉

このままでは使用できない

➡ウッドデッキで憩いの場？



庭石は立派だが邪魔？

神風が吹く！かも



〈今後の展開〉

地域内や近隣地域の皆さまと居場所作りワークショップ（改称：わいわい会議）を重ね、必要な機能と役割に従って改造計画を進めていきます。

◆【詳報】無事設立された法人は、こんな応援の仕組みあり！（2022年8月2日）



一般社団法人 **ございん八木山** Since 2022

会 員 募 集

私たちの活動に、皆様のお力添えをお願いします

ございん八木山のご案内

一般社団法人「ございん八木山」は、一人の方の大きな善意から始まりました。今まで地域の方に世話になったので、土地家屋を譲渡したい、地域のために役に立てて欲しいというものです。慌てて、譲渡を受けるべく一般社団法人「ございん八木山」を立ち上げて、地域の福祉課題や生活課題を解決する拠点として活用することにしました。

大きくは、二つの目的を持っています。一つは世代や地域を超えた「居場所」づくり、二つは「困っている人」と「サポートが出来る人」を繋ぐ仕組みづくりです。根底には、「情けは人のためならず」という考え方があります。

半数近くの方が誤った解釈をしていることわざが「情けは人の為ならず」。情け無用が反対語です。「情けは他人の為だけではない、いずれ巡り巡って自分に恩恵が返ってくるのだから、誰にでも親切にせよ」という意味で、日本では古くから「恩送り」という言葉があり、同様の意味を持ちます。

英語には「Today you, tomorrow me」(今日のあなたは明日の私)という同様の語句があります。また、2000年「ペイフォワード 可能の王国」というアメリカ映画がありました。ペイフォワードとは「ある人物から受けた親切を、また別の人物への新しい親切でつないでいくことを意味する英語」です。

「ございん八木山」の事業目的や内容については、チラシの中に盛り込んでありますが、世代や地域を超え福祉活動や生活課題を解決するために、色んな取り組みを計画しております。

- ・無償譲渡会「ただもん市」の運営 (現在絶賛開催中)
- ・ジジババ食堂
- ・健康相談
- ・空き家管理受託事業 など

入会のご案内

ございん八木山の活動経旨に賛同していただける会員の募集を行っております。

1. 会員特典

■個人会員【正会員(社員)・賛助会員】

- ・「ございん八木山」の施設等の無料利用
- ・セミナー等の情報提供
- ・年次報告書等の定期送付
- ・「ただもん市」の案内及び利用

■団体会員・法人会員【正会員(社員)・賛助会員】

- ・「ございん八木山」の施設等の無料利用
- ・地域ニーズや、地域活動を把握した事業展開
- ・年次報告書等の定期送付
- ・「ただもん市」の案内及び利用

2. 会員区分と会費(年額)

■会員区分:正会員と賛助会員の2種類

- ・正会員(社員):本法人の目的に賛同して入会した個人または団体又は法人。議決権を有します。
- ・賛助会員:本法人の事業に入会した個人又は団体又は法人。
- ・会費は一口単位です。

会員区分	正会員(社員)	賛助会員
個人会員	5,000円	3,000円
団体・法人会員	12,000円	

〈本件連絡先〉 井上 090-8789-2420 / 岩崎 090-2884-0624 / 佃 090-7930-8401

正会員・賛助会員の枠を用意し、個人・団体ともにサポートが出来るようにしました。



会員にならなくても、匿名で好きな額を入れられる募金箱も、もちろん用意。ご来場の方に中学生の元気な声が届きます。

〈今後の展開〉

会費は出せないけど、マンパワーで手伝いたい。

そんなお声がけも多く、既に集まり始めている

ボランティアの方の役割の明確化とルール作りも進めていきます。

◆【詳報】メディア掲載が、こんなに！



成果

8月20日 河北新報朝刊掲載

8月24日 東北放送ラジオ・エンボヤージュ

8月28日 ただもん市の模様を東北放送テレビで放映

9月3日 東北放送ラジオ・亜KIRAのハートフルデー

9月25日 シルバーネットで取材（シニア向け無料情報誌・各月発行 仙台圏を中心に35,000部）

◆ただもん市 成果と課題(9月時点)

成果

計画時の目標 **200名**

※会員にならないまでも、プロジェクトを認知し
シンパ(サポーター予備群)になってくださる人数



9月時点集客 **184名**

※リピーターの方のダブルカウントを除く
ダブルカウントすると、3回の運営で集客302名



寄贈点数 **1000点超**

※実際に入り用の方の手に渡った点数は600点超

月日	回	八興クラブ 参加者	町内会 参加者	八木山地区 参加者	地区外 参加者	合計 参加者	寄付金額
7月31日	プレ運営	9	32	32	16	89名	2,811円
8月28日	第1回	13	23	31	61	128名	11,236円
9月25日	第2回	4	11	38	32	85名	12,868円
合計		26名	66名	101名	109名	302名	26,915円

➡メディアに取り上げられてから、町内会外からの参加者が増加。

➡地区外からの連携の声掛けも多いので、効果的かつ効率的な連携の仕方を考えながらも、当初の主目的である町内会～八木山地区内に満足の輪を広げられるよう工夫していく必要がある。

◆ただもん市からつながる福祉と社会貢献の循環へ

➡課題①：資源枯渇

ケアマネ等経由で終活サポート

➡課題②：若者世代へのアプローチ

ジモティ等からHPへ誘導

➡より分かりやすい社会貢献へ③

社会福祉法人と連携

➡貢献の輪を広げる④：地域の広がり

関心のある所にアネックス方式



不用品

古物商 不要品整理業者

不要品

SDGs



- ・冷蔵庫
- ・洗濯機
- ・テレビ
- ・ベッド
- ・テーブル
- ・椅子
- ・筆筒
- ・キャビネット

持ち運び可能品

持ち運び困難品

HPに掲載



What's NEW で画像掲載

②



誘導



③

社会福祉法人 ありのまま舎等

④

- ・ただもん市のANNEX方式を検討
- ・東西南北4拠点 町内会・老人クラブ等と連携

- 8月20日 河北新報朝刊掲載
- 8月24日 東北放送ラジオ・エンボヤージュ
- 8月28日 ただもん市の模様を東北放送テレビ
- 9月3日 東北放送垂KIRAのハートフルデー

- 9月25日 シルバーネットで取材
- 11月号で記事



実践によって分かった課題1：当事者意識の醸成

- 対策1：アイデアが褪せないうちに体系化し、すぐに手に入る備品系アイデアはただもん市で募る。
- 対策2：ハード改修を伴わない、ソフト面ですぐ出来るアイデア(ボードゲーム会など)を試しに実行してみる。
- 対策3：若い世代が中心になって運営を担う「ただもん市アネックス(スピンオフ)」を開催する。
- 対策4：東北福祉大学など、“助け合い”の領域に直接関わる研究室へアプローチする。

実践によって分かった課題2：誰でもふらりと立ち寄れるための環境の整備

- 対策5：管理人ポジションなど、ボランティアの方の役割の明確化とルール作りを進める。
- 対策6：一軒家でやりたいことがある担い手が、一軒家を利用しやすい仕組みを次年度にかけ整備する。

<p>【実現が比較的容易な機能】</p> <p>第2の部室、ボードゲーム会などの 単発イベント etc</p>	<p>【実現に時間がかかる機能】</p> <p>飲食業許可、町内会行事の取仕切り、 無料寺子屋 etc</p>
<p>【実現が比較的容易な備品・設備】</p> <p>ダーツ、ボードゲーム、漫画本、 電子レンジ、麻雀 etc</p>	<p>【入手や管理に時間がかかる備品・設備】</p> <p>看板犬、カラオケセット、ビリヤード台 etc</p>

◆実施スケジュール(微調整Ver.)

調整

月	令和4年度事業実施内容	
4月	(不動産寄贈者との打ち合わせ・一般社団法人の法的な打ち合わせ・スキーム検討)	
5月	(ただもん市・ワークショップ企画や地域の巻き込み方のスキーム検討)	
6月	広報物製作～広報開始	
7月	ただもん市①	
8月	一般社団法人設立・土地家屋の譲渡	
9月	ただもん市②	わいわい会議① 大学生
10月	ただもん市③	わいわい会議② 中学生
11月	ただもん市④	ただもん市アネックス(スピンオフ)
12月		わいわい会議③ 八木山東町内会
1月	ただもん市⑤	
2月		
3月	ただもん市⑥	全体を振り返り次年度以降のプラン作成

▶▶GOZAIN-八木山の成長ステップ



◆事業予算 ▶支出計画総額予算内での微調整

調整

1 事業収支予算

収入の部	収入科目	予算額	内訳
	協働実践事業助成金	1,440,000 円	
	八興クラブ	260,000 円	
	手数料収入	100,000 円	寄贈品販売 (ジモティ・Amazon等)
	合計	1,800,000 円	

支出の部	助成対象経費		支出科目	予算額	内訳
	人件費	300,000 円	八興クラブ人件費 (15万円×2人)		
	人件費	1,000,000 円	まちづくりスポット仙台人件費 (50万円×2人)		
	報償費	100,000 円	広報物外部発注		
	旅費	20,000 円	泉区⇄太白区移動費		
	消耗品費	20,000 円			
	印刷製本費	40,000 円	A4 (4P) ニつ折りチラシ 6千部 ×2回発行 配布経費は町内会経由		
	通信運搬費	10,000 円			
	その他の経費	110,000 円	ただもん市用什器製作		
	小計 ①	1,600,000 円			
助成対象外経費 ②		200,000 円			
合計 (①+②)		1,800,000 円			

(注) 次年度以降は別途計画

▶▶ 広報物を自家製作
両者合算で広報計画

▶▶ 什器製作→什器製作等 ※

自家製作



2 助成金申請予定額

① × 0.9	1,440,000 円
---------	-------------

助成金申請予定額 (千円未満切り捨て)	1,440,000 円
---------------------	-------------

最新の情報は【ございん八木山 公式サイトへ】



審査員の皆さまも、応援よろしくお願いいたします